

竹富島で会いましょう

本調子

中尺工合工五工工尺中工合工七五合工中合乙四上中合

五王老四上老四王四王四老四上四合乙合四上中王老四

ばこそ つかもういちどあえるはず

上合上合四上中合工七五合工合工尺尺中上合中王老四

くみち サーツンダラカヌシャマ マタハーリヌ た

けとみじーまで あいましょう

四上中合工王老四上老四王



たびをつづけていれ



竹富島で会いましょう

本調子

2/2

一、旅を続けていればこそ
いつかもう一度会えるはず

白いサンゴの一本道は

星の砂へと続く道

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

二、時は流れているものを

刻むからこそ無理も出る

船に揺られて釣り糸垂らせば

釣れた魚は空の色

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

三、夕日待つ様な赤瓦

恋を伝えるミンサー帯

誰を待ちましょうコンドイ浜で

浅い眠りで夢の中

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

四、かわす言葉も日焼けして

島のなまりがかわいい人

並ぶ石垣福木の影で

聴いた鳥唄忘れぬ

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

五、昔大和の今東京

距離は呼び名で変わるもの

年に一度の種取り祭り

種をまきましよう胸の中

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又